

マシン油乳剤

農林水産省登録

性状

毒性

有効年限

第19155号

淡黄色澄明可乳化油状液体
普通物(毒物及び劇物に該当し
ないものを指している通称)
5年

サンケイ 高度マシン 95

殺虫剤分類

—

有効成分:マシン油 95.0%

適用病害虫名および使用方法

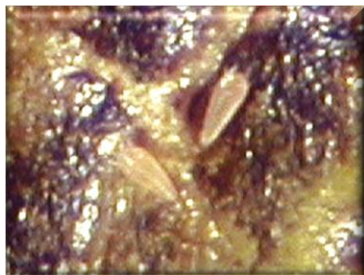
2024年7月10日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	マシン油を 含む農薬の 総使用回数
かんきつ	ヤノネカイガラムシ その他のカイガラムシ サビダニ ハダニ類の越冬卵	30～45倍	冬期	—	散布	—
	ヤノネカイガラムシ その他のカイガラムシ サビダニ ハダニ類	100～200倍	夏期			
落葉果樹 (なし、りんご、かき、もも)	カイガラムシ サビダニ ハダニ類及びその越冬卵	16～24倍	—			
落葉果樹(ぶどうを除く) 桑	カイガラムシ類	12～14倍				
りんご (北部日本 芽生前に散布の場合)		30～45倍				
もも	アブラムシ類	25倍	発芽時			

ヤノネカイガラムシ



ミカンサビダニ



製品情報・SDSはこちら



サンケイ化学株式会社

東京営業部

☎:048-551-2122

大阪営業所

☎:06-6305-5871



- 精製されたマシン油を有効成分としており、ハダニ類、カイガラムシ類の成幼虫に効果を示します。
- 果樹の越冬期害虫の防除に不可欠な農薬で、他剤抵抗性ハダニ類にも優れた防除効果があります。

【使用上の注意事項】

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- (2) 調製した薬液は速やかに使用してください。
- (3) 石灰硫黄合剤、ボルドー液などのアルカリ性薬剤やジチアノン剤、TPN剤などの水和剤及び銅剤との混用は避けてください。
- (4) 高温時の散布では薬害を生じやすいので、散布は日中をさけ朝夕の涼しい時に所定濃度範囲の低濃度で行ってください。
- (5) 散布直後の降雨は、本剤の効果が低下するので、特に冬期散布においては、好天の続くときに使用してください。
- (6) かんきつに使用する場合は下記の事項に注意してください。
 - ① 散布後、葉(特に旧葉)に油浸斑を生じることがありますが日数の経過に従って消失し、落葉を助長することはありません。但し、樹勢が弱っている場合には散布しないでください。
 - ② ジチアノン剤との近接散布は果実に薬害を生じる危険があるのでさけてください。
 - ③ 3月に本剤を使用するときは、なるべく早めに散布してください。この場合石灰硫黄合剤との散布はさけてください。
 - ④ ジメトエート剤との混用はヤノネカイガラムシ第1世代防除時期には、樹勢により落葉を助長することがあるので、さけてください。
- (7) うめに使用する場合には落葉期での散布はさけてください。
- (8) もものアブラムシ類を対象に散布する場合、モモアカアブラムシなどの休眠卵で樹上越冬するアブラムシ類を対象に発芽前に使用してください。
- (9) 桑に使用する場合には、発芽後に散布すると薬害を生じるので、冬期又は夏切直後に使用してください。
- (10) 落葉果樹に使用する場合は下記の事項に注意してください。
 - ① 芽が動き出してから散布すると薬害を生じるおそれがあるので、発芽前に散布してください。
 - ② 樹勢が弱っている場合は薬害を生じるおそれがあるので散布しないでください。
- (11) 本剤は自動車などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。

【安全使用上の注意事項】

- (1) 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄は河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- (3) 危険物第4類第4石油類に属するので火気には十分注意してください。
- (4) 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所にはおかないでください。